学校番号	T3017

令和８年度　学校設定教科

教科	（学）総合	科目	（学）集団活動Ａ	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本講座は、下記を目的とする。
・集団に参加し、自分の位置づけと、集団のルールや雰囲気に適応する（なじむ）方法を学ぶ。（傾聴力）
・チーム内で与えられた（または見つけた）自身の役割を認識し、その役割を果たすために他者と協力・補完し合う関係性を築く。（協調性）

2　学習の到達目標

【知識・技能】
集団活動の基本的なルールやマナーを理解し、実践し、傾聴や協調のための基本的なコミュニケーションスキルを活用する。
【思考・判断・表現】
自身のグループでの位置づけを客観的に判断し、適切な行動を選択し、活動記録や振り返りを通じて、自身の考えを明確に表現する。
【主体的に学習に取り組む態度】
他者との関わりを大切にし、積極的にグループ活動に参加し、自己の役割に責任を持ち、最後まで諦めずに取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	授業ごとに必要な内容をプリントに記入する。 まとめや考察をプリントに記入する。	事項をまとめる力や表現力を高める。 あたえられた考察に対し、自分の考えを述べ、プリントに記入する。	それぞれの学習内容に対し、意欲的に取り組んでいる。 また、適切な発言を行っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	縦割り活動1	集団活動の実践を通して、コミュニケーション能力の向上を図り、自身の行動がチームに与える影響を体験的に学ぶ。	a: 集団での自身の役割を理解し、役割を果たす。 b: 他者や集団の課題を発見し、解決するための方法を分かりやすく表現する。 c: チームでの活動が円滑に進むように、役割分担をして、積極的に活動する。	プリントの記述	考察の内容	授業中の態度と発言
	集団活動1	意見が対立した際の合意形成手法(コンセンサス、多数決、統合案など)の学習と実践を行い、集団での合意形成を体験する。	a: 必要な情報を正しくに言葉にする。 b: 情報の取捨選択を的確に説明する。 c: 回数を重ねるごとに工夫し、必要な情報を見極めたり、適切な伝え方を考える。			
後期	集団活動2	複数の活動に対して、所属集団に応じた役割分担を考える。 意見が対立した際の合意形成手法(コンセンサス、多数決、統合案など)の学習と実践を行い、集団での合意形成を体験する。	a: 必要な情報を正しくに言葉にする。 b: 情報の取捨選択を的確に説明する。 c: 回数を重ねるごとに工夫し、必要な情報を見極めたり、適切な伝え方を考える。			
	集団活動3	意見が対立した際の合意形成手法(コンセンサス、多数決、統合案など)の学習と実践を行い、集団での合意形成を体験する。	a: 必要な情報を正しくに言葉にする。 b: 情報の取捨選択を的確に説明する。 c：回数を重ねるごとに工夫し、必要な情報を見極めたり、適切な伝え方を考える。			
	縦割り活動2	集団活動の実践を通して、コミュニケーション能力の向上を図り、自身の行動がチームに与える影響を体験的に学ぶ。	a: 集団での自身の役割を理解し、役割を果たす。 b: 他者や集団の課題を発見し、解決するための方法を分かりやすく表現する。 c: チームでの活動が円滑に進むように、役割分担をして、積極的に活動する。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度